

参加無料  
(要事前申込み)

## 歴史資料講演会

# 書物のちから — 書物は社会をどう変えたのか —

江戸時代、印刷技術の向上により三都（京都・大坂・江戸）を中心に多くの書物が作られ、やがて名古屋など三都以外にも広がっていきます。それまで書物を手にすることができなかった庶民が読書を楽しんだり、学問を身に付けるようになるなど、書物が身近なものとなりました。また、書物を集めた「文庫」が各地につくられるようになります。

今回の講演会では「書物」を取り上げ、書物の人々にどのように読まれ、受け入れられたのか、文庫が地域社会で果たした役割について、書物文化史の専門家のお二人に御講演いただきます。

### 【日 時】

2025年10月4日（土） 午後1時から午後4時まで（開場午後0時30分）

### 【場 所】

愛知県女性総合センター（ウィルあいち） [名古屋市東区上野杉町1番地] 3階 大会議室

### 【演題及び講師】

「書物は日本近世社会をいかに変えたのか」

わかお まさき  
若尾 政希氏（一橋大学名誉教授、人間文化研究機構理事）

「渡辺政香、岩瀬文庫、奇書『視聴実記』」

しおむら こう  
塩村 耕氏（名古屋大学名誉教授）

### 【定 員】

150名（先着順・要事前申込み）

### 【申込方法】

次のいずれかの方法によりお申し込みください。

#### ① あいち電子申請・届出システムによる申込み

次の URL 又は二次元コードからアクセスして、申込フォームからお申し込みください。

申込完了後、登録されたメールアドレスに確認メールが送信されます。

<https://ttzk.graffer.jp/pref-aichi/smart-apply/apply-procedure/1415077419806510512>

#### ② 郵送等による申込み

裏面の参加申込書に必要事項を記入し、公文書館へ郵送、ファックス又は持参してください。

### 【申込期限】

2025年9月26日（金）午後5時（定員に達し次第締め切ります。）



### <会場への交通案内>

- 地下鉄「名古屋城」駅下車  
2番出口から東へ徒歩約8分
- 名鉄瀬戸線「東大手」駅下車  
南へ徒歩約6分
- 基幹バス「市役所」下車  
東へ徒歩約8分
- 市バス幹名駅1  
「市政資料館南」下車  
北へ徒歩約5分



### <問合せ先>

愛知県公文書館

〒460-0001

名古屋市中区三の丸二丁目3番2号

愛知県自治センター7階

電話 052-954-6025

ファックス 052-954-6902

メール [kobunshokan@pref.aichi.lg.jp](mailto:kobunshokan@pref.aichi.lg.jp)

Web サイト

<https://kobunshokan.pref.aichi.jp/>

## 講演 1 「書物は日本近世社会をいかに変えたのか」

江戸時代は、日本列島において商業出版が始まった時代です。書物の登場と普及は、17 世紀から現代までを書物の時代とひとくくりできるほどの大変革でした。現在放送されている大河ドラマ「べらぼう」では、書物の作り手である本屋に光があてられ、<sup>つた やじゅうざぶろう</sup> 蔦屋重三郎ら本屋が生き抜くためにいかにして書物を作ったのかが描かれています。本講演では、本屋によって作られた書物が、いかに読まれたのか、その読者に着目してみたいと思います。

講師 若尾 政希氏

専門は日本近世史・思想史。書物・出版が人の生き方や社会・政治をいかに変えてきたのかをテーマとした「書物・出版と社会変容」研究会を二十数年にわたり主宰。近著に『書物の時代－読書がひろく日本近世－』（岩波書店）、編著に『シリーズ 本の文化史』（平凡社）など。

## 講演 2 「渡辺政香、岩瀬文庫、奇書『視聴実記』」

三河には、<sup>わたなべまさか</sup> 渡辺政香の寺津八幡社文庫と、それを吸収した<sup>いわせやすけ</sup> 岩瀬弥助の岩瀬文庫、<sup>はだのたかお</sup> 羽田野敬雄の羽田八幡宮文庫、<sup>むらかみただまさ</sup> 村上忠順の村上文庫と、古典籍専門の巨大文庫がいくつも現存しています。最近、岩瀬文庫創設者、岩瀬弥助に宛てた大量の書簡資料が、旧書庫の片隅から出現、その内容分析から、三河の文庫の間におぼろげな連関のあることが見えてきました。また岩瀬文庫にある渡辺政香旧蔵書から、尾張藩に関する奇書『視聴実記』の正体が判明しました。それら、文庫がもたらしてくれる豊かな恵みの一端について、語りたと思います。

講師 塩村 耕氏

専門は日本近世前期文学、書物文化史。西尾市岩瀬文庫などで古典籍の調査及びデータベース作成に中心となって携わる。『愛知県史』編さんでは近世史、文化財で執筆を担当。

## 「歴史資料講演会」参加申込書

申込期限

9月26日(金)午後5時

氏名	
住所	〒
電話番号	
参加人数	(一度にお申し込みいただける人数は5名までです。)

\* 複数での参加を希望される場合は、代表者の氏名・住所・電話番号を記入してください。

\* 記入された個人情報は、「歴史資料講演会」の参加受付事務以外に使用しません。